

平成30年度学校経営方針

島根県立隠岐島前高等学校

【隠岐島前高校 校訓】 真理・理想・進取 (校歌より)

校長 多々納 雄二

【教育目標】

1. 真理の探究に向け、協働的に粘り強く挑戦する人の育成 《 向かっていく学力 ・ 広がっていく社会力 》
2. 理想を追求し、自己を高め、社会に貢献できる人の育成 《 広がっていく社会力 ・ 高まっていく人間力 》
3. 進取の気象をもち、主体的、意欲的に行動する人の育成 《 向かっていく学力 ・ 高まっていく人間力 》
4. 心身ともに健康、情操豊かで、他人を思いやる人の育成 《 高まっていく人間力 》

《平成30年度 学校経営計画》

1) ミッション (地域社会における本校の使命)

地域の現状と課題を認識し、地域や社会に貢献しようとする志を持つ人材 (人財) の育成

2) ビジョン (使命の追求を通じて実現しようとする本校の将来像)

地域活性の一翼を担い、地域と連携・協働する学校、生徒と地域と未来をつなぐ活力ある学校

3) 経営目標

- ①生徒一人一人に 確かな学力を定着させ、伸長させる学校 《基礎学力の定着・学力保障》
- ②生徒一人一人に 将来の社会的自立に必要な資質・能力・態度を身につけさせる学校 《社会人基礎力の育成》
- ③生徒一人一人の 自己実現及び将来設計上の目標実現を支援する学校 《進路保障》

4) スローガン : 「前傾姿勢」でSINKA (親化・新化・深化・進化・真価・神化)

5) めざす学校像 : (教職員・生徒がともに) しっかり (強固に) ・ じっくり (計画的に) ・ きっちり (確実に)

- ①地域に愛される学校 (信頼され、期待される学校) ・ 社会に開かれた、社会とつながる学校
- ②アイに満ちた学校 (愛・～合い 学び合い・支え合い・助け合い・認め合い・高め合い…)
- ③見続ける学校 (見る・見とる・見立てる・見抜く・見定める・見守る・見込む・見通す…)

《平成30年度 重点施策》

■島前高校魅力化プロジェクトの更なる推進により、本校教育の活性化をめざす

1) SGH (スーパーグローバルハイスクール) を活用し、「グローバル人材」の育成をめざす

- ①2年次海外研修旅行 (シンガポール) 及びブータン・ロシア短期研修等の更なる充実
- ②地域地球学・地域生活学・夢探究等、特色ある授業の効果的な実践
- ③国内外の他校・他地域との交流、プロジェクトの積極的推進

2) 教科及び探究型学習にかかる指導の更なる充実、学習履歴や学びの気づき等の保存及び活用をめざす

- ①習熟度別の少人数指導 (国語・英語・数学 1年次～) における授業内容・指導方法の研究・実践
- ②生徒の「主体的、対話的で深い学び」を促す授業づくりへの挑戦
- ③Classi (個別学力支援システム) 及びe-ポートフォリオ評価の導入と継続的研究
- ④学校設定科目 (地域地球学・地域生活学等) を中心とした授業等における、地域等の外部講師を積極的に招聘した協働型教育活動の推進と、学校設定科目を軸とした、全教職員による教科横断型授業体制の確立

3) 部活動の更なる振興をめざす

- ①生徒の主体的活動の場としての、全部活動 (運動系・文化系) の活性化
- ②地域及び島外生の期待に応える、部活動の魅力化の推進

4) 全学年2学級編成の維持・継続を保障する校内体制の構築をめざす

- ①島内生の進学先としての魅力の発信と、島外生の増加に対応するための各分掌業務の円滑な遂行
- ②教育職員・事務職員・魅力化スタッフ相互が、連携・協働できる体制の確立

5) 第3期魅力化構想の立案と構想具現化に向かう機運の醸成をめざす

- ①地域との協働による、第1・2期魅力化事業の検証及び次の5年間を見据えた新構想の立案
- ②魅力化事業10周年記念行事の開催等による、平成31年度からの新構想事業に向けた入念な準備

■新教育課程への円滑な移行及び実施により、本校教育の活性化をめざす

1) 「学んだ力」の確実な定着をめざす

- ①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得 (質量バランスのとれた学習、ICT 機器の効果的活用等)
- ②思考力・判断力・表現力、問題発見・解決力等の「使える・役立つ」能力の育成

2) 「学ぶ力」(学ぶ意欲・主体的に学び続けようとする原動力) の醸成をめざす

- ①「なぜ学ぶのか」といった意義を理解させる、学習意欲を高める指導・支援の工夫
- ②学びが「どう役立つのか」等に関心を持たせ、知的好奇心を刺激する指導・支援の工夫
- ③協働的に学ぶ意欲や態度及び学習計画力を身につけさせ、自ら学ぶ喜びを高める指導・支援の工夫